



ふれあい 放水路

2006
(平成18年)
第148号
7月



みなとぼら
湊原ふるさといきものふれあいの里・トンボ池

ハナシヨウブ

大社湾沿岸の黒松林を背景に、濃淡紫色のハナシヨウブが静かに水辺を彩っていました。

ハナシヨウブは、江戸時代に品種改良が進められ、情緒ある日本の水辺風景を彩る花として庶民に親しまれてきました。じめじめとした梅雨に美しいシヨウブを愛で、楽しむ日本人の知恵だったのかもしれない。

梅雨が明ければ、いよいよ夏本番です。水辺に涼みに出かけてみてはいかがでしょうか。



★子ども特集★
夏休み
子ども特集

ひいかわ れきし しら 斐伊川の歴史を調べてみよう!

げんざいこうじちゅう ひいかわほうすいろ ひいかわ かんどがわ
現在工事中の斐伊川放水路ができると斐伊川と神戸川はむすばれます。神戸川とむすばれる斐伊川は、どんな川なのでしょう?
そこで今回は斐伊川の歴史を紹介します。

斐伊川 流れの歴史年表

斐伊川の上流から運ばれる大量の砂により、出雲平野は形づくられてきました。また、斐伊川の流れも一緒に変化し続けてきました。

奈良時代

710年 斐伊川・神戸川は神門水海をへて日本海へ注いでいました。



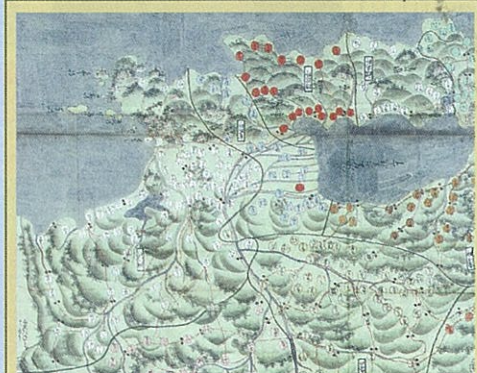
往古簸川西流絵図(約1200年前)
斐伊川は西向きでした。(島根県立図書館所蔵) ※絵図の一部を表示しています。

平安時代

794年 斐伊川の上流から運ばれた砂が神門水海を徐々に埋めていきました。斐伊川・神戸川は直接日本海(大社湾)に注ぐようになりました。

室町時代

1603年 1635年と1639年の2度の大洪水をきっかけに、斐伊川は流れを変え、宍道湖へ注ぐようになりました。



寛永出雲国絵図(約370年前)
斐伊川は出雲平野で何本にもわかれて流れていました。(島根県古代文化センター所蔵) ※絵図の一部を表示しています。

江戸時代

1641年~1657年 斐伊川に堤防をつくり、流れを東向きに固定しました。

1687年~1840年 何回も「川違え」で、流れを移しかえました。

明治・昭和

1923年~1944年 現在の斐伊川の位置で河川工事が行われました。

1975年 斐伊川・神戸川の治水に関する基本計画が島根県より公表され、斐伊川の洪水の一部を神戸川に流すことになりました。

1981年 斐伊川放水路事業がはじまりました。

平成

1994年 斐伊川放水路の工事が本格的にはじまりました。

その後も洪水におそわれました。



現在
平成のおろち遺治のはじまりです。



出雲に伝わる「八岐大蛇」神話は、洪水をおこして人々を苦しめた斐伊川を大蛇に例えたと一般的にいわれているんだ。

このころから斐伊川は天井川になりはじめたんだ。そして洪水がよくおこるようになったんだ。

「鉄穴流し」の歴史
戦国~江戸時代前期ごろ「鉄穴流し」がはじまる

1610年 松江藩(堀尾氏)が禁止

1636年 松江藩(京極氏)がふたたび許可

天井川とは川の底のなかが高さが周りの土地より高くなっている川のことなんだ。



もっと詳しく知りたい人へ!
松江市にある「風土記の丘資料館」、斐川町にある「荒神谷博物館」に行くと斐伊川とともに生きてきた昔の人たちの暮らしがわかるよ。

幕末から明治はじめにかけてもっとも盛んに行われる

近代製鉄業におおされ衰退・廃業
1955年斐伊川流域で終わる

斐伊川三三知識

斐伊川の呼び名はいろいろあった!?

- 古事記(712年) 肥河
- 日本書紀(720年) 簸之川
- 出雲国風土記(733年) 斐伊大河、斐伊河、斐伊川
- 下流部が出雲大川と呼ばれていたようです。

参考文献:新編日本古典文学全集1(古事記),4(日本書紀①),5(風土記) 小学館

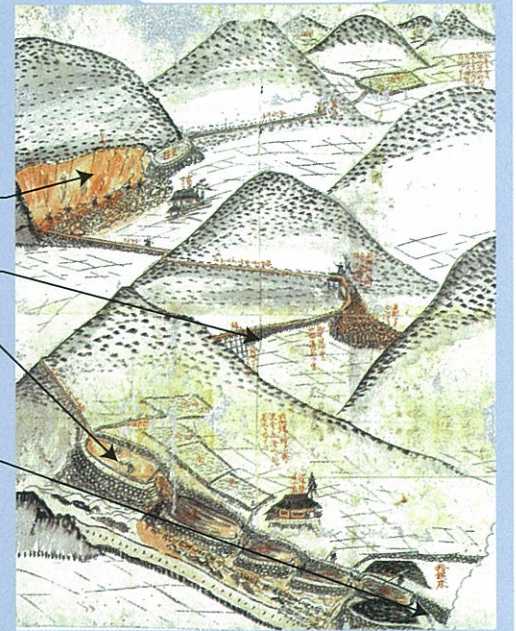
斐伊川の流れに大きな影響を与えた「たたら」の「鉄穴流し」

斐伊川の上流の中国山地では、奈良時代以前から「たたら」と呼ばれる鉄づくりが盛んに行なわれていました。江戸時代ごろから「たたら」では、「鉄穴流し」という方法で鉄の材料となる砂鉄をとっていました。この方法により、たくさんの砂が斐伊川の下流に流されました。その結果、下流(出雲平野)に砂がたまり洪水の原因となりました。

鉄穴流しの風景

ジブリ映画「もののけ姫」は「たたら」を舞台にしたお話だよ。

- ①砂鉄を含んだ山をくずす
- ②水路で砂を運ぶ
- ③砂より重い砂鉄は池に沈む
- ④軽い砂は下に流れる(斐伊川へ流される)

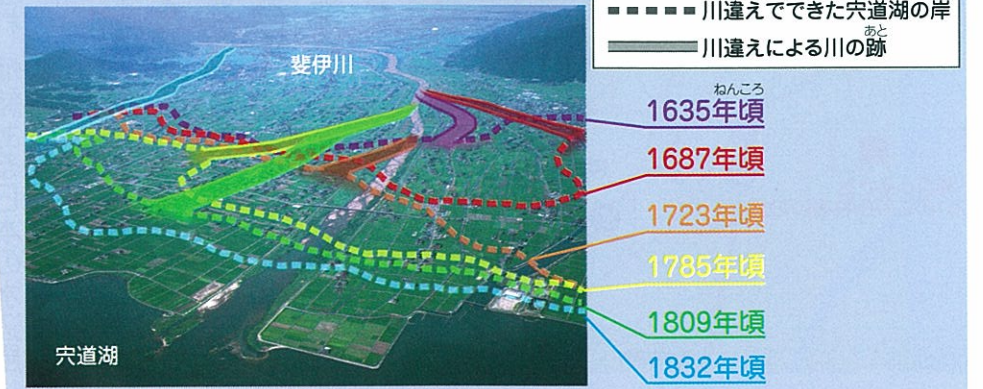


鉄穴流し風景図「鉄山記」(幕末頃刊行)より(和鋼博物館所蔵)

もっと詳しく知りたい人へ!
安来市にある和鋼博物館に行くと、鉄穴流しの模型が見れるよ。

斐伊川の川違え

川違えとは、斐伊川の流れを変え、洪水を防ぐだけでなく、斐伊川が運ぶ砂で宍道湖を埋め新しい水田をつくるための工夫でもありました。江戸時代の6回の川違えにより、宍道湖西岸は現在の大きさまで埋め立てられ、広い水田をつくり出しました。



参考文献:斐伊川誌(H7.6 建設省中国地方建設局出雲工事事務所)、かわの歴史台帳(H5.3 島根県文化財愛護協会)

ふれあい放水路 通信

出雲河川事務所長 がかわりました

ありがとうございます



七月二日付けで、出雲河川事務所を離任いたしました。在任期間中はおかげさまで斐伊川放水

路事業の工事が順調に進み、充実した二年二ヶ月を過ごすことができました。これまでの地域住民の皆さま方をはじめ関係者の皆さま方のご支援とご協力に對しまして厚く御礼申し上げます。今後の皆さま方のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。
内藤 正彦



よろしくお祈りします

七月二日付けで、内藤事務所長の後を引き継ぎ着任しました。斐伊川放水路事業の進捗をはじめ、

出雲河川事務所の諸業務がスムーズに行えるよう、一層精進して参ります。前事務所長同様、皆さま方のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお祈りいたします。

渡邊 茂

尾原ダム建設事業 本体起工式を挙行!

六月二七日(火)、雲南市木次町の尾原ダム建設予定地において、ダム本体工事の起工式が執り行われました。

当日は輝く青空の下、多数の来賓、

地元関係者の方々等二二〇名を超える皆様にご臨席を賜り、盛大に挙行することができました。

起工式では、式辞、祝辞などに続いて鍬入れ・鋤入れが行われました。

尾原ダム建設事業は、平成二二年度末の完成を目指し、今年度中は本体工事の基礎掘削作業を進め、来年度からはコンクリート打設に入る予定です。



第十五回 ポピー祭り

が開催されました



毎年恒例のポピー祭りが、志津見ダムの事業用地において、六月十一日に開催されました。

当日は好天にも恵まれ、周辺地域や県外からの来訪者を含め約三千人の参加者で賑わいました。

斐伊川・神戸川総合開発工事事務所では、会場内で斐伊川・神戸川治水事業のパネル展示等による事業紹介を行いました。また、毎年好評を得ている現場体験バスツアーでは、普段立ち入る事の出来ないダム本体工事の現場を案内し、ダムのスケールの大きさを体感して頂きました。



国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

メールアドレス E-mail:izumo@info.cgr.mlit.go.jp
ホームページ http://www.izumokasen-mlit.go.jp/

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先: ふれあい放水路担当
放水路推進室 事業対策官



水環境フェア2006 in 松江

2006 8/7(日) 8(火)
主会場 くにびきメッセ
(島根県立産業交流会館)

開催主旨

斐伊川流域の中海・宍道湖は大橋川を挟んだ世界でもまれな連結汽水湖で、昔より私たちに多くの恵みをもたらしてきました。

水環境フェアは、全国各地で展開されている地域の取り組みやその現状について、全国の関係者が両湖を抱える松江市に一堂に集い、その活動状況の報告や情報交換を行い水環境の保全と改善に対する意識の高揚を図ることを目的としています。

問い合わせ・参加申し込み先

水環境フェア2006 in 松江実行委員会 事務局宛
〒693-0023 出雲市塩冶有原町5-1(出雲河川事務所内)
TEL (0853)21-1850 FAX (0853)21-2878
E-mail:izumo@info.cgr.mlit.go.jp

記念講演



福島 敦子